


ヤマキ スタンドライブ

YS200-3S

整備要領書

2002年 9月 10日

 山本機工株式会社

本社 〒515-0302
三重県多気郡明和町大淀2686-1
TEL 0596-55-2121 FAX 0596-55-3111

福岡営業所 〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目37-23
TEL 092-588-7120 FAX 092-572-5658

札幌営業所 〒007-0826
札幌市東区東雁来6条2丁目3-10
TEL 011-782-4115 FAX 011-782-4116

このマニュアルは整備して頂く皆様プロフェッショナルを対象に作成してあります。

従いまして、ごく基本的な事は割愛させて頂き、本製品を扱う上で最低限必要なポイントのみ御説明いたしております。

本書とパーツリストを合わせて御利用頂き、お役に立てれば幸いに存じます。

— — — 目次 — — —

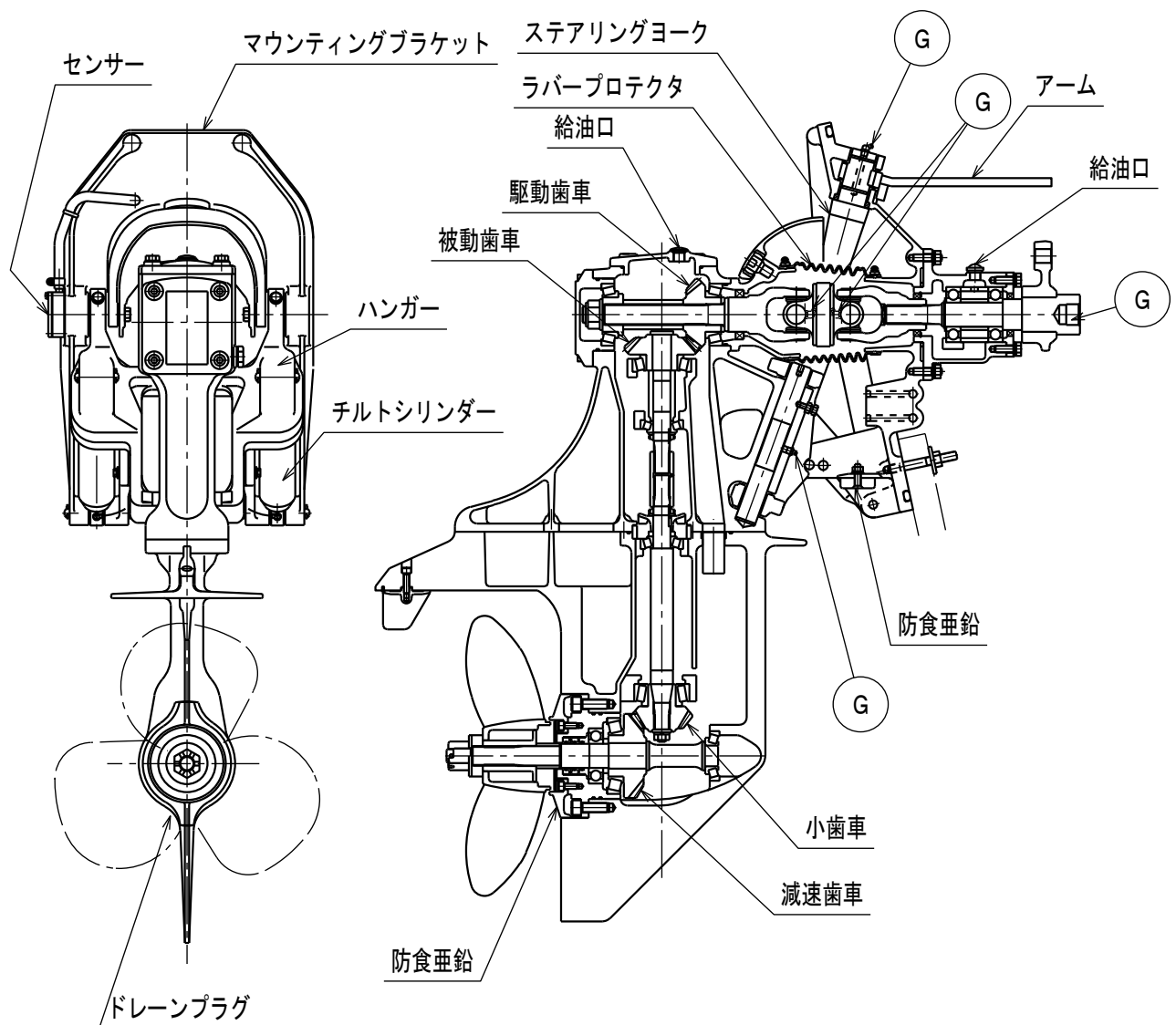
〔1〕	分解・組立上の注意	・・・・・・・・・・	2
〔2〕	各部名称と給油箇所	・・・・・・・・・・	2
〔3〕	入力軸グループの分解・組付け	・・・・・・・・・・	3
〔4〕	ドライブ本体～ハンガーの分解・組付け	・・・・・・・・・・	4
〔5〕	操作ハンドルグループの分解・組付け	・・・・・・・・・・	5
〔6〕	上部グループの分解・組付け	・・・・・・・・・・	6～7
〔7〕	下部グループの分解・組付け	・・・・・・・・・・	8～9

〔1〕 分解・組立上の注意

本品のケース類はアルミ鋳物ですから、特に合わせ面等の取り扱いには十分に注意して下さい。
 分解した部品は洗浄し、消耗、破損等を点検して下さい。
 パッキン、ガスケット、Oリング、オイルシール、割ピンを分解した時は新品と交換して下さい。
 組立は分解と逆順で行いますが、部品交換に伴いシム調整が必要になることがあります。
 オイルシールを組み込むときはリップにグリスを塗布し傷を付けない様に注意して下さい。
 ステンレスボルトの締め付けトルク

M6	45～65	kg-cm
M8	105～135	kg-cm
M10	210～270	kg-cm

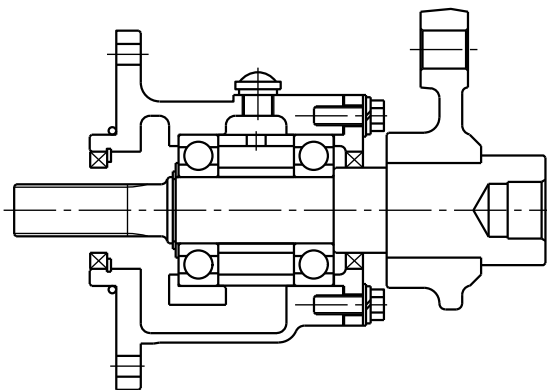
〔2〕 主要名称と給油箇所



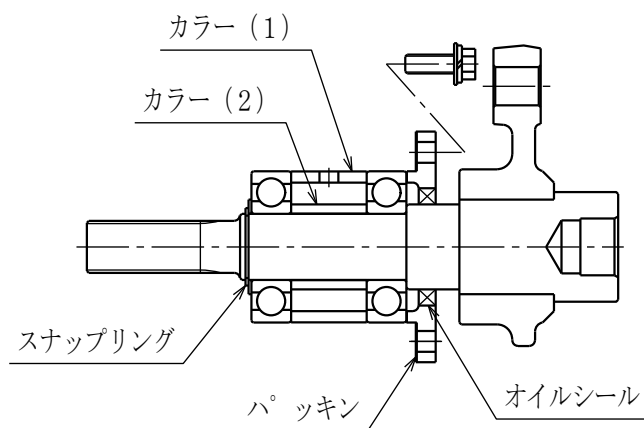
Ⓒはグリス塗布またはグリスニップル場所を示す。

[3] 入力軸グループの分解・組付け

1. M10 x 1.5ナット (6個) を外しマウンティングブラケットから取り外す。



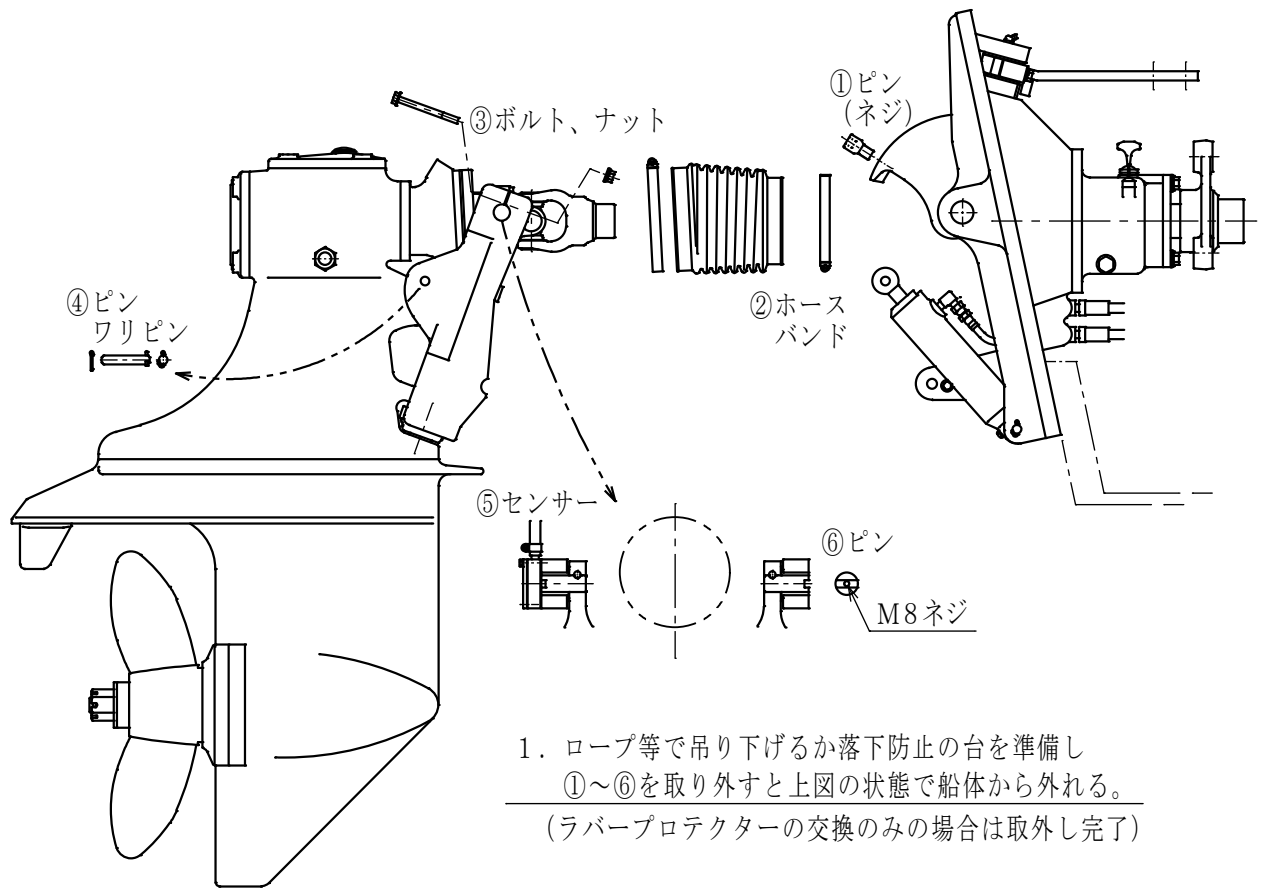
2. カバーのボルトを外し下図状態で叩き出し、スナップリングを外せば全部品を取り外せる。



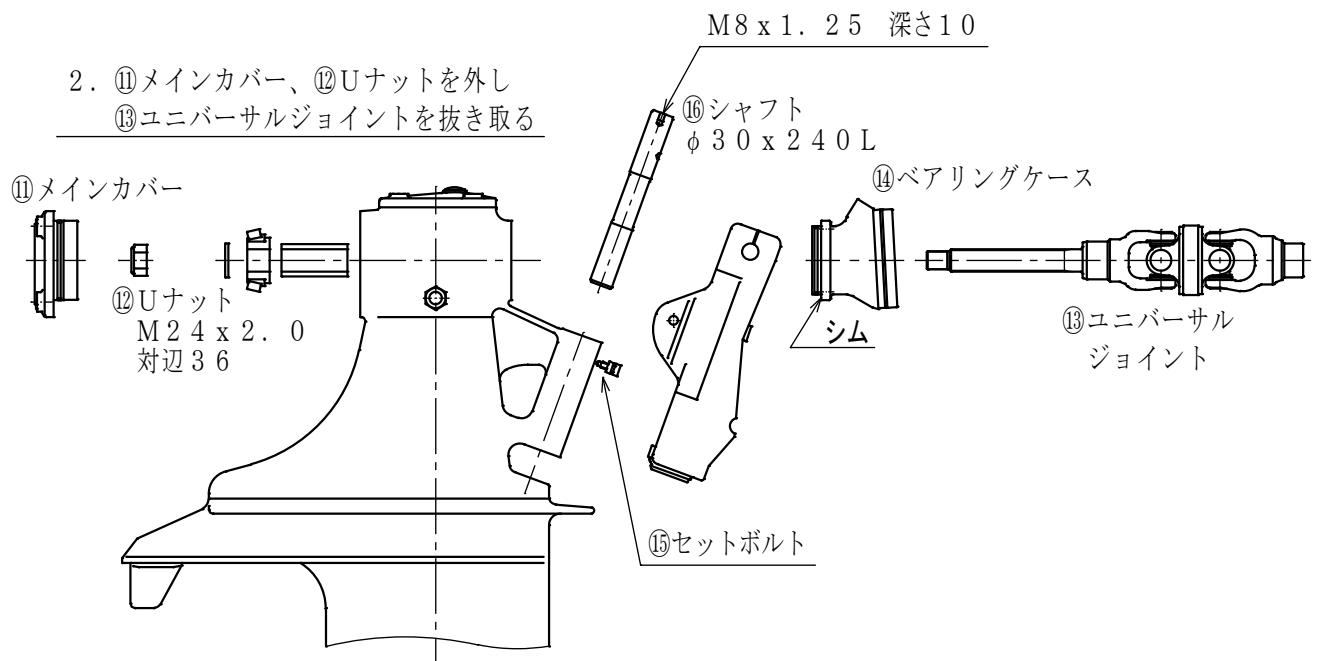
組付け時の注意

1. シムが入っている場合は元通りに組込んで下さい。
(但しカラーを交換した時は再調整が必要です。)
2. カラー (1) の穴3個所のいずれかを真上 (ブリーザキャップ方向) に組込んで下さい。

[4] ドライブ本体～ハンガーの分解・組付け



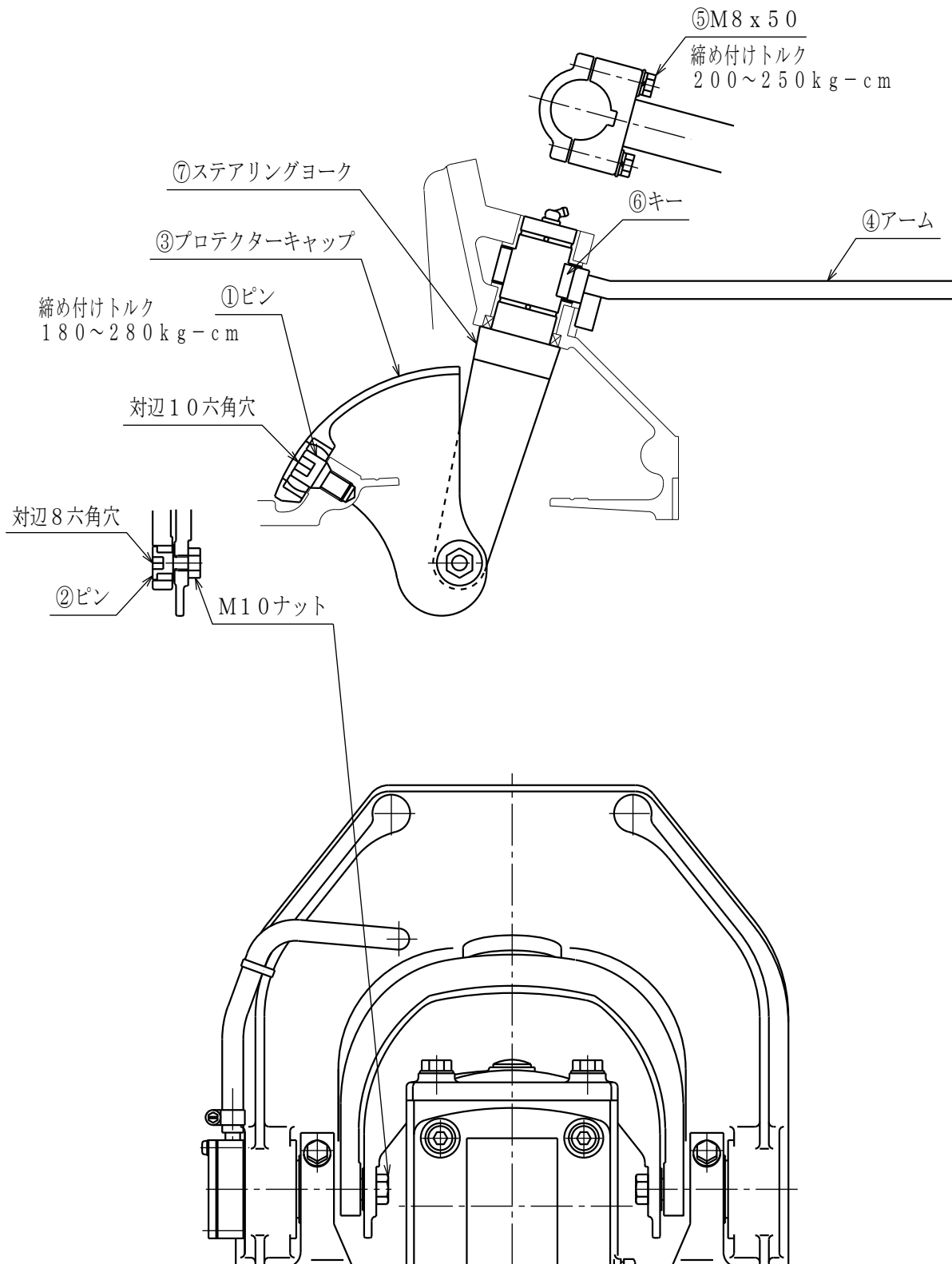
⑥ピンの取り外しはM8ネジを利用した治具で引き抜く方法をお勧めしますが
内側へ叩き出す場合はホースバンドを外しラバープロテクターを船首側に寄せて下さい。



3. ④ベアリングケースを外し⑤セットボルトを緩め
⑥シャフトを抜き取るとハンガーが外れる

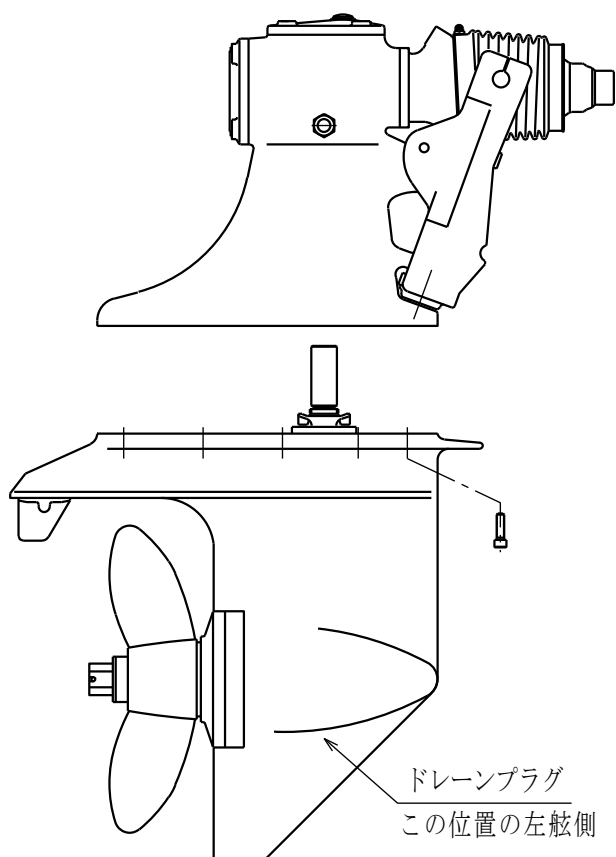
[5] 操作ハンドルグループの分解・組付け

1. ①②ピンを抜き ③プロテクターキャップを外す
2. ⑤ボルトを外し ④アーム及び⑥キーを外す
3. ステアリングヨークを下へ抜き取る。



〔6〕 上部グループの分解

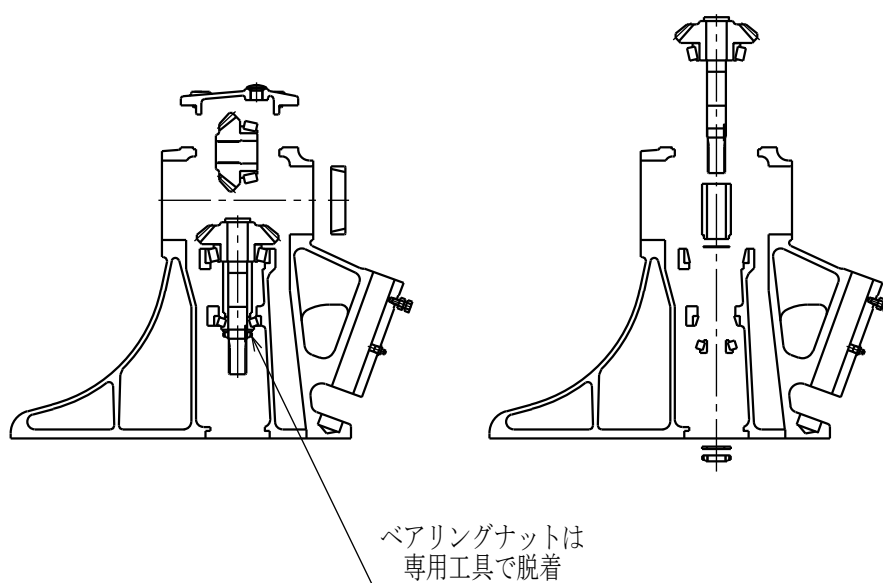
1. オイルを抜きM10 x 25六角穴付きボルト（10本）を外し液状パッキンを塗布している為軽く叩いて外して下さい。



下図までの分解はP 4を全体組立図はP 7を参照して下さい。

2. 上部カバーを外し駆動歯車を抜く取る。

3. ベアリングナットを外しジョウブシャフト叩き出す。



歯当たりの確認・調整

シムは原則的には分解前に組付けてあった通りに仮組みします。

組付け前に各歯車とも数枚にマーク用ペンキ（光明丹等）を薄く塗ってください。

バックラッシの基準寸法は 0.2 ± 0.1

テーパローラベアリングに組込んだ歯車の軸方向のガタは $0 \sim 0.1$ となる様調整して下さい。

被動歯車を見る



A図は理想的な歯当たりを示す。

小判形に近く、全歯長の $1/2$ 以上 小端よりであること

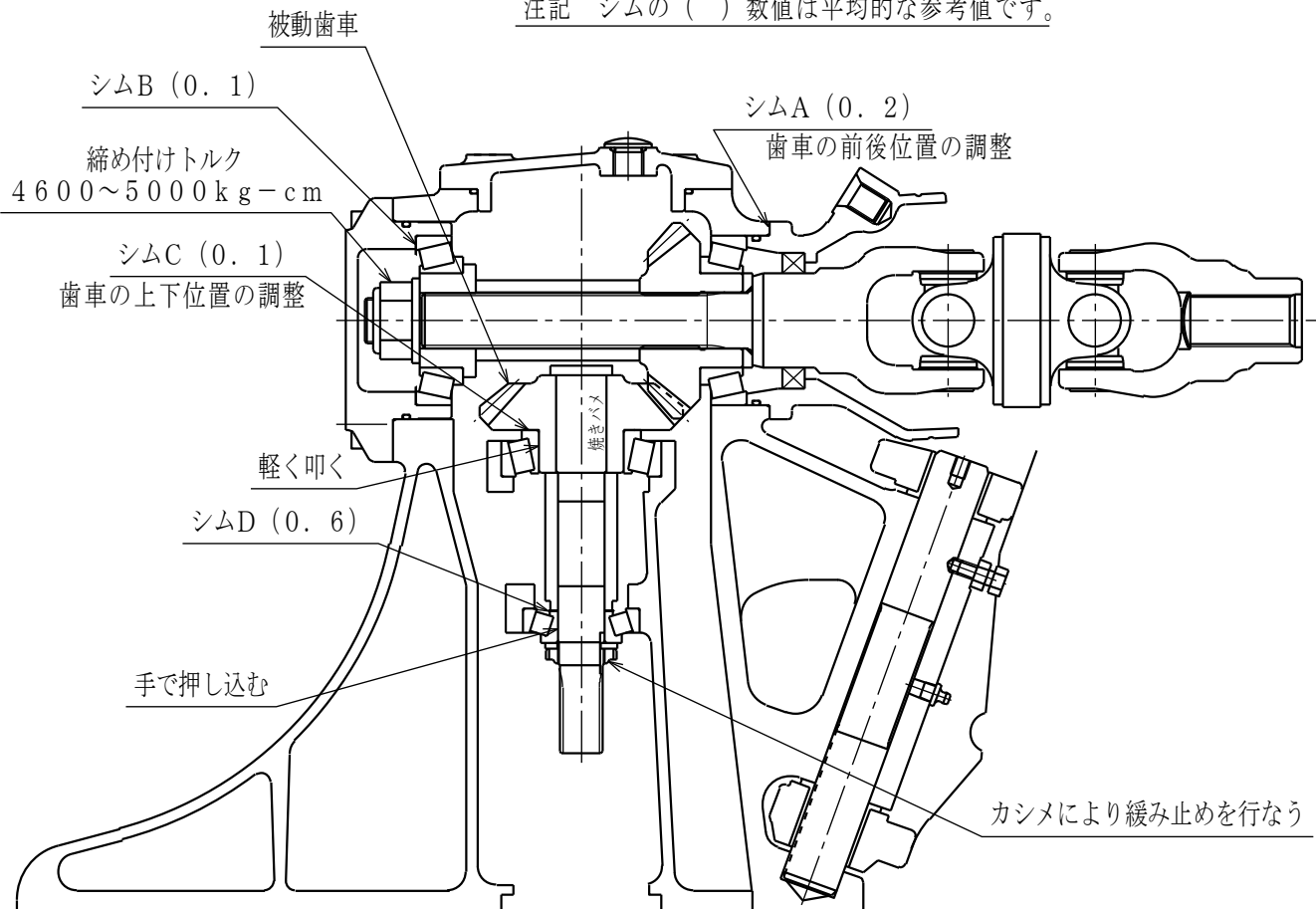


B図の様な場合は 駆動歯車を中心に向かって移動させ（シムA、B減）
被動歯車歯車は中心より離す（シムC、D減）



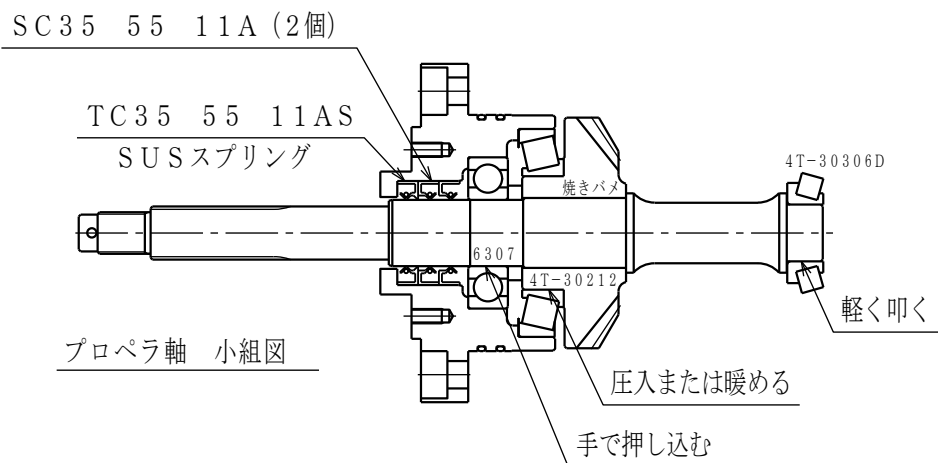
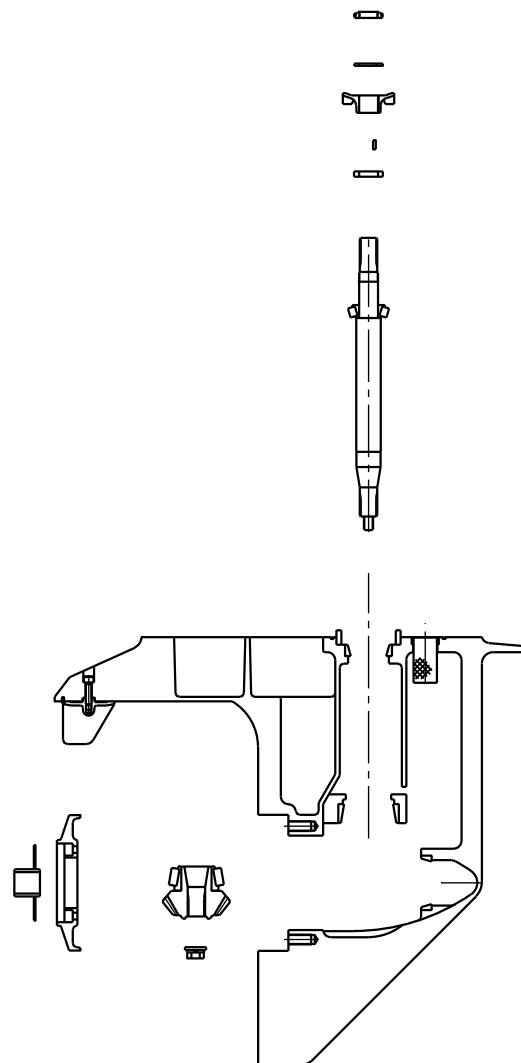
C図の様な場合は 駆動歯車を中心より離し（シムA、B増）
被動歯車歯車は中心に向かって移動させる（シムC、D増）

注記 シムの（ ）数値は平均的な参考値です。



〔7〕 下部グループの分解

1. プロペラ軸を小組図の状態で抜き取る
2. ベ어링ナットと下部のナットを外し縦軸関係の部品を抜き取る



歯当たりの確認・調整

全般的な注意事項はP 7 上部グループと同様です

減速歯車を見る



A図は理想的な歯当たりを示す。
小判形に近く、全歯長の1/2以上 小端よりであること



B図の様な場合は 駆動歯車を中心に移動させ (シムA, B増)
被動歯車歯車は中心より離す (シムC, E増、D減)



C図の様な場合は 駆動歯車を中心より離し (シムA, B減)
被動歯車歯車は中心に移動させる (シムC, E減、D増)

注記 シムの () 数値は平均的な参考値です。

